



マーケット・ウォッチ 2021年4月号

1. 先月の回顧と今後の相場見通し（要旨）

<先月の回顧>

① 株式市場

日経平均株価は前月比+212円（騰落率+0.73%、月末終値 29,178円）、3年ぶりに5カ月連続で上昇。19日には日銀のETFの買入方針変更（年間購入額の原則撤廃、日経平均連動型を外しTOPIX連動型ETFへ一本化）から株価は下落する場面もあったが、円安を背景に底堅く推移（TOPIX月間騰落率+4.80%）。

② 為替市場

米ドル円相場は円安ドル高で推移（騰落率+3.85%、月末気配 1ドル110円71銭）。米長期金利の上昇を背景に円は対米ドルで下落し、約1年ぶりに1ドル110円台まで円安進行。21年1～3月では円の弱さが際立ち、通貨の総合的な価値を示す日経通貨インデックスでは、円は年初から▲4.4%の通貨安、主要25通貨ではブラジルレアル（▲8.2%）に次ぐ下落率。

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、前月比▲0.03%低下（月末値 0.12%）。10年債利回りは2月に約5年ぶりの水準（一時0.17%台）に上昇したが、その後は低下基調。3月19日公表の「日銀金融政策に関する点検」で、長期金利の許容変動幅を0%中心に「±0.1%の倍程度」から「±0.25%程度」に多少拡大したが、長期金利上限の具体的な数値明記で、先行きに対する不透明感の払拭から長期金利の上昇懸念は後退。

<今後の相場見通し>

① 株式市場

日経平均株価は緩やかな上昇を予想。新型コロナ変異株の感染拡大およびワクチン接種の遅れによる「まん延防止等重点措置」の適用開始から、海外投資家が慎重姿勢に転じる可能性は高まるが、米追加経済対策による外需増加に加え、足元の円安進行が支えとなり、株価は堅調地合いの推移を想定。

（今月の予想レンジ）日経平均株価 28,500～32,000円 NYダウ 31,000～34,000ドル

② 為替市場

米ドル円相場は緩やかなドル高推移を予想。日銀が過度な長期金利上昇を容認しない姿勢を示す一方で、米国では経済対策およびワクチン普及による景気回復期待が強いことから、米ドル高円安基調の継続を見込む。

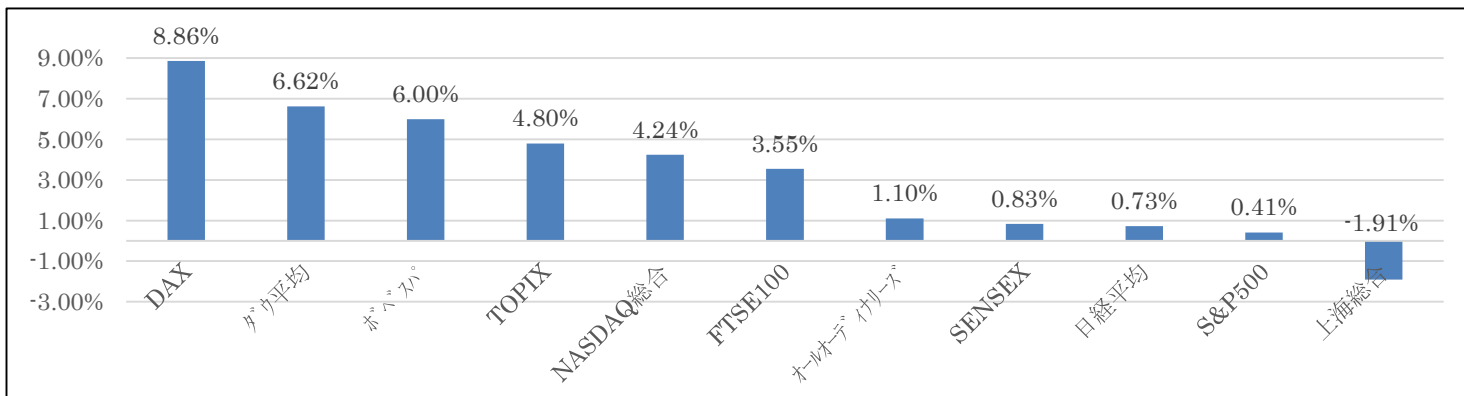
（今月の予想レンジ）米ドル円 108～112円 ユーロ円 128～131円

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。国内のコロナ変異株の感染終息が見通せないなか、日銀が過度な金利上昇を容認しない方針を示しているため、長期金利は安定推移を見込む。

（今月の予想レンジ）日本10年国債利回り 0.05～0.20% 米国10年国債利回り 1.60～2.00%

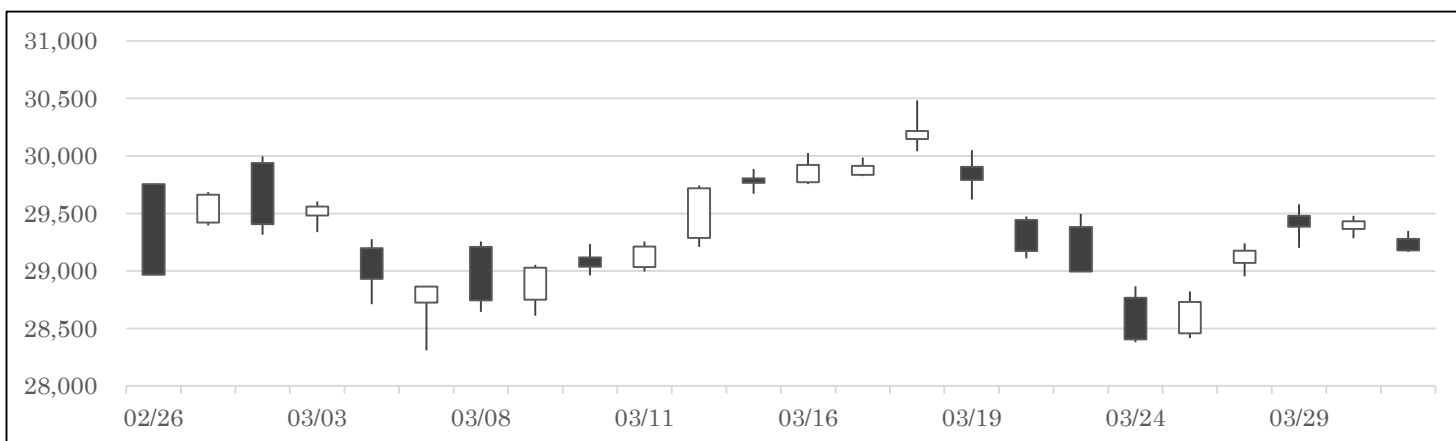
2. 株式 < 主要株式指標 前月騰落率 >



< 主要株式指標 月末終値 >

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	オーストラリア・インデックス	上海総合	NYダウ工業	SENSEX
日本	日本	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ	イギリス	オーストラリア	中国	ブラジル	インド
29,178.80	1,954.00	32,981.55	3,972.89	13,246.871	15,008.34	6,713.63	7,017.0	3,441.9115	116,633.72	49,509.15

< 日経平均株価推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーエム証券が作成

< 先月の回顧 >

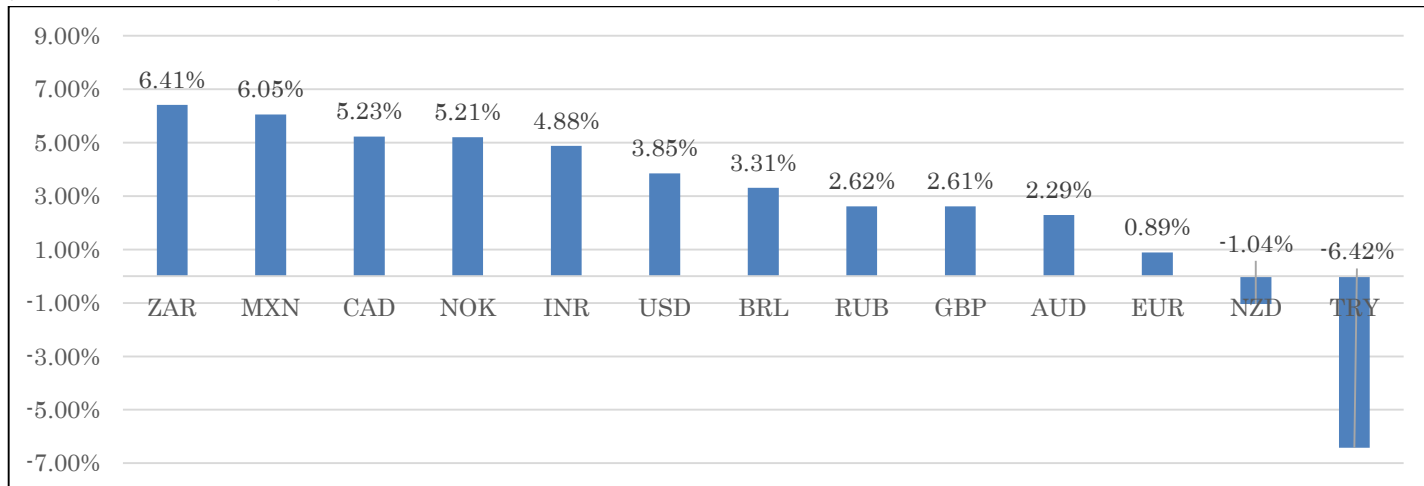
- ① 日経平均株価は前月比+212円(騰落率+0.73%、月末終値 29,178円)、3年ぶりに5カ月連続で上昇。19日には日銀のETFの買入方針変更(年間購入額の原則撤廃、日経平均連動型を外しTOPIX連動型ETFへ一本化)から株価は下落する場面もあったが、円安を背景に底堅く推移(TOPIX月間騰落率+4.80%)。
- ② NYダウ(米国株式)は前月比+2,049ドル上昇(騰落率+6.62%、月末終値 32,981ドル)。月初の株価は長期金利上昇懸念から軟調地合いで推移したが、バイデン大統領の1.9兆ドルの追加経済対策およびFRB(米連邦準備制度理事会)の景気回復後も長期緩和方針の表明から、株価は堅調に推移。

< 今後の見通し >

- ① 日経平均株価は緩やかな上昇を予想。新型コロナ変異株の感染拡大およびワクチン接種の遅れによる「まん延防止等重点措置」の適用開始から、海外投資家が慎重姿勢に転じる可能性は高まるが、米追加経済対策による外需増加に加え、足元の円安進行が支えとなり、株価は堅調地合いの推移を想定。
- ② 米国株式は堅調ながら上下に振れる展開を予想。1.9兆ドルの追加経済対策にワクチン接種の進展、2023年までの金融緩和と投資環境は良好だが、さらに4兆ドルの経済対策(「米国雇用計画:3月31日発表」「米国家庭計画:月内発表予定)を表明。財源の4分の3は法人増税等を予定するため、企業増税に慎重な共和党との調整難航が予想され、また景気過熱による金融緩和の早期縮小懸念から株価は乱高下する展開を想定。

(今月の予想レンジ) 日経平均株価 28,500 ~ 32,000円 NYダウ 31,000 ~ 34,000ドル

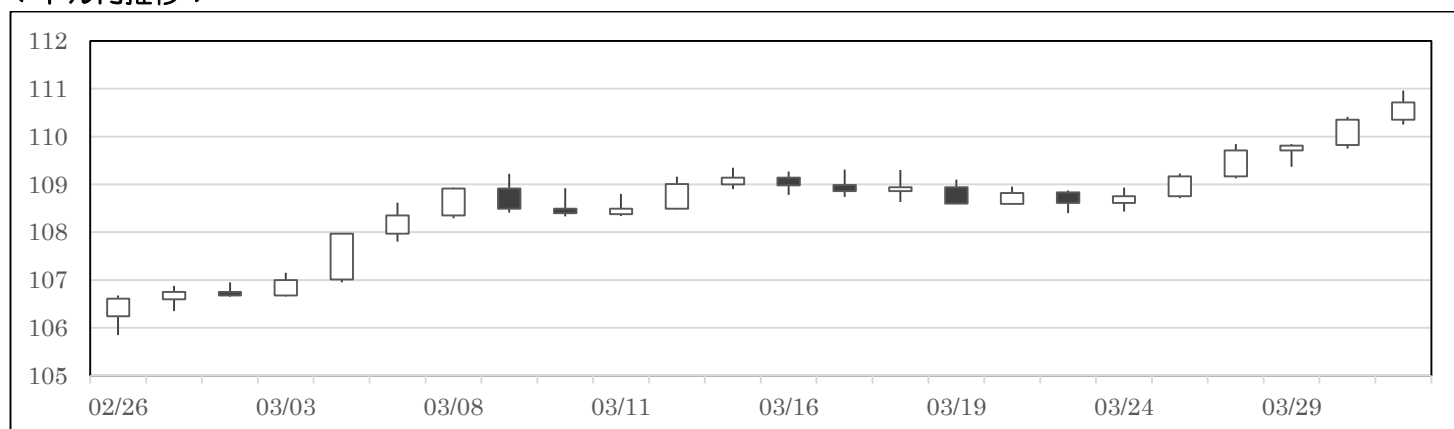
3. 外国為替 < 主要通貨対円 前月騰落率 >



< 主要通貨対円 月末気配レート >

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
ドル	EU	イギリス	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド	ノルウェー	ブラジル	インド	メキシコ	ロシア	南アフリカ	トルコ
110.71	129.82	152.55	84.06	88.10	77.26	12.93	19.64	1.5123	5.4135	1.4629	7.4928	13.40

< ドル円推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に 静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 米ドル円相場は円安ドル高で推移（騰落率+3.85%、月末気配 1ドル 110円 71銭）。米長期金利の上昇を背景に円は対米ドルで下落し、約1年ぶりに1ドル110円台まで円安進行。21年1～3月では円の弱さが際立ち、通貨の総合的な価値を示す日経通貨インデックスでは、円は年初から▲4.4%の通貨安、主要25通貨ではブラジルレアル（▲8.2%）に次ぐ下落率。
- ② ユーロ円相場は概ね横ばい推移（騰落率+0.89%、月末気配 1ユーロ 129円 82銭）。欧州と米国の長期金利差拡大に加え、欧州各国の新型コロナ感染再拡大およびワクチン接種の遅れから、日本円と同様にユーロは対ドルで下落。

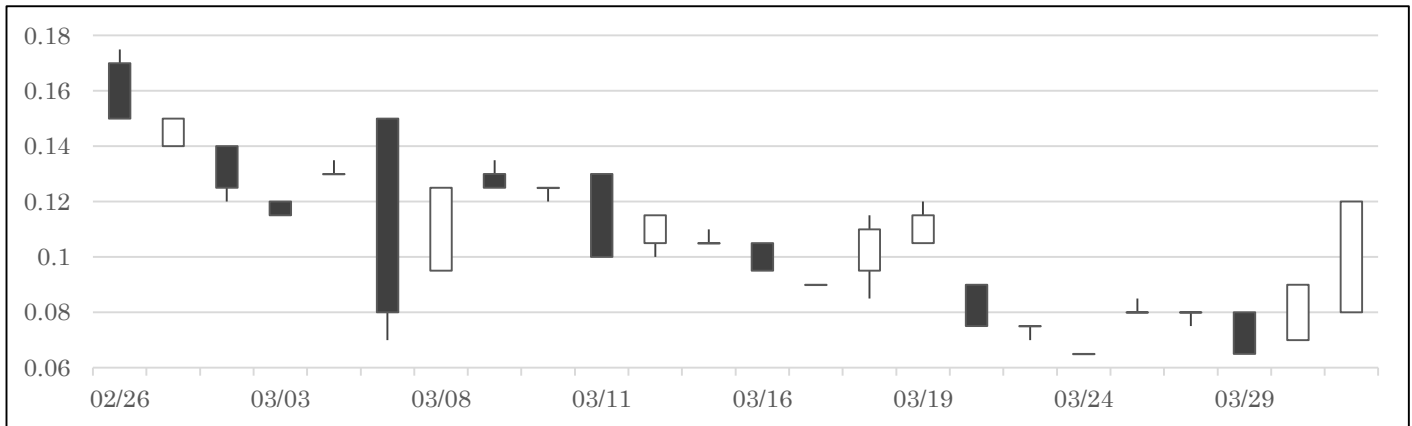
< 今後の見通し >

- ① 米ドル円相場は緩やかなドル高推移を予想。日銀が過度な長期金利上昇を容認しない姿勢を示す一方で、米国では経済対策およびワクチン普及による景気回復期待が強いことから、米ドル高円安基調の継続を見込む。
- ② ユーロ円相場は横ばい圏推移を予想。欧州の感染再拡大に伴う景気悪化懸念から、ECB（欧州中央銀行）の景気浮揚目的の資産買入ペース加速を想定。ユーロは対ドルでは下落するが、対円では一進一退の展開を想定（今月の予想レンジ） 米ドル円 108～112円 ユーロ円 128～131円

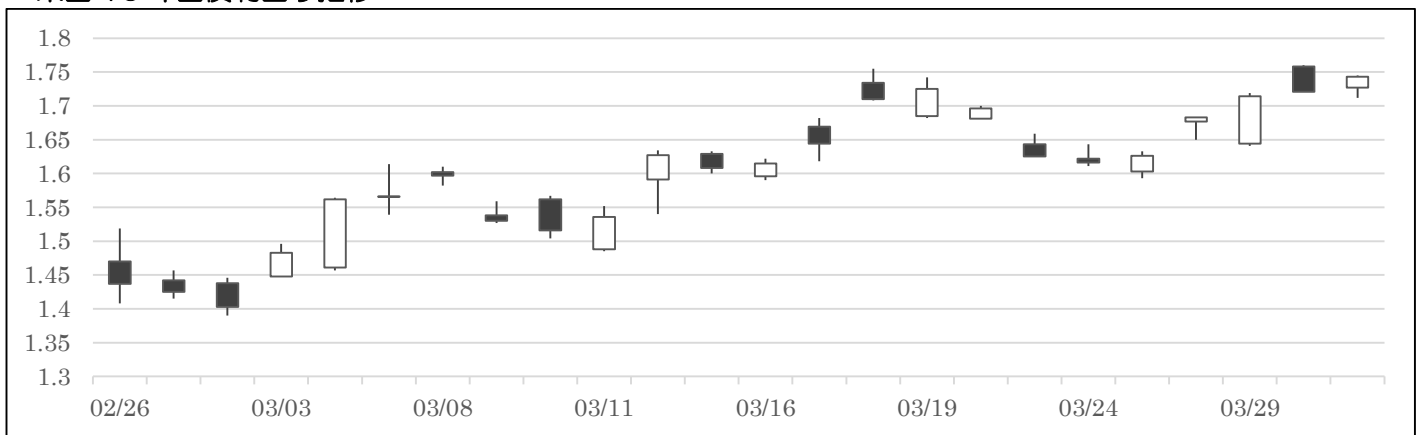
4. 債券 < 10年国債利回り 前月騰落幅 >

	日本	アメリカ	ドイツ	イギリス	インド	ブラジル	メキシコ
10年国債利回り	0.12	1.743	-0.294	0.843	6.3225	9.015	6.519
前月騰落幅	-0.03	0.306	-0.031	0.024	0.005	0.603	0.663

< 日本 10年国債利回り推移 >



< 米国 10年国債利回り推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 日本 10年国債利回りは、前月比▲0.03%低下（月末値 0.12%）。10年債利回りは2月に約5年ぶりの水準（一時0.17%台）に上昇したが、その後は低下基調。3月19日公表の「日銀金融政策に関する点検」で、長期金利の許容変動幅を0%中心に「±0.1%の倍程度」から「±0.25%程度」に多少拡大したが、長期金利上限の具体的な数値明記で、先行きに対する不透明感の払拭から長期金利の上昇懸念は後退。
- ② 米国 10年国債利回りは、前月比+0.306%上昇（月末値 1.743%）。ワクチン普及および追加経済対策による景気回復期待からインフレ加速懸念が高まり、2カ月連続で+0.3%以上の上昇。

< 今後の見通し >

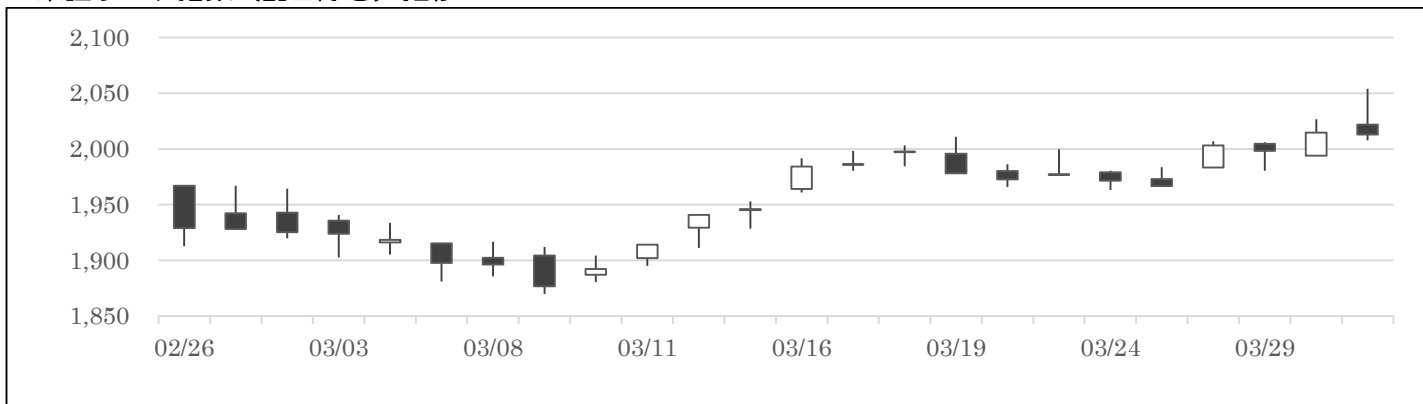
- ① 日本 10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。国内のコロナ変異株の感染終息が見通せないなか、日銀が過度な金利上昇を容認しない方針を示しているため、長期金利は安定推移を見込む。
- ② 米国 10年国債利回りは、徐々にレンジを切り上げる展開を予想。米国の景気回復期待は高まっているが、さらに4兆ドルの経済対策（「米国雇用計画：3月31日発表」「米国家庭計画：月内発表予定」）を表明。財源の4分の3は法人増税等を予定するが、インフレ懸念の高まりによる金利上昇を想定。

（今月の予想レンジ）日本 10年国債利回り 0.05 ~ 0.20 % 米国 10年国債利回り 1.60 ~ 2.00 %

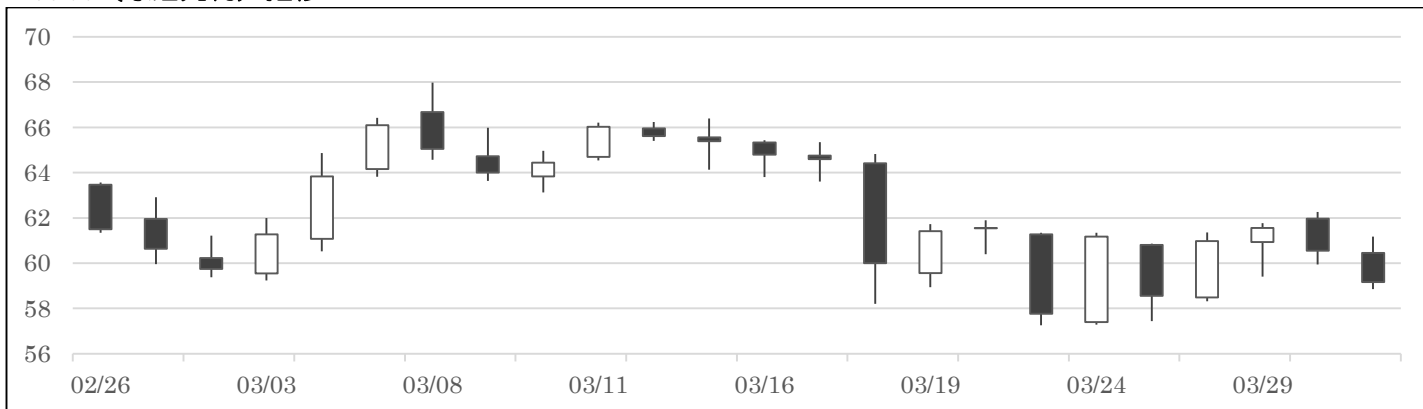
5. その他「リート、商品」〈月末気配値または終値及び前月騰落率〉

	リート（配当除き）			商品（米ドル建）	
	東証リート指数	S&P 米国リート指数	S&P 豪州リート指数	原油 WTI 先物	金 COMEX 先物
指数（配当除き）	2,013.08	334.29	147.6	59.16	1,715.60
前月騰落率	4.35%	4.95%	4.87%	-3.80%	-0.76%

〈東証リート指数（配当除き）推移〉



〈WTI（原油先物）推移〉



（出所）：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

〈先月の回顧〉

- ① Jリート（日本の不動産投資信託）市場の東証リート指数は、前月比+84 ポイント上昇（騰落率+4.35%、月末終値 2,013 ポイント）し、月末終値で約 1 年ぶりに 2,000 ポイント台を回復。米長期金利への警戒感によりリート指数は月初から下落したが、国内でのワクチン接種開始および米国の追加経済対策による景気回復期待から上昇。
- ② WTI（原油先物）は、前月比▲2.34 ドル下落（騰落率▲3.8%、月末終値 59.16 ドル）。3 月の OPEC プラス会合での協調減産継続およびサウジアラビアの自主的な減産維持から、原油価格は上昇基調で推移。その後、欧州の新型コロナ感染再拡大から需要回復への懸念が台頭し、原油価格は軟調に推移。

〈今後の見通し〉

- ① 東証リート指数は、緩やかな上昇を予想。緊急事態宣言は解除されたが、「まん延防止等重点措置」の適用開始から GoTo トラベルの再開は見通せなくなり、不動産市況回復の更なる遅れを見込む。一方で、国内長期金利には安定感が始め、リーートの株価対比での大きな出遅れ感および配当狙いの買いに支えられ、緩やかにコロナ前の水準（2,200 ポイント）を目指す展開。
- ② WTI（原油先物）はレンジ内弱含みを予想。4 月 1 日の OPEC プラス会合では協調減産の縮小を決定したが、欧州およびインドでは感染拡大の終息が見えず、原油需要回復への懸念拡大。減産縮小の結果、原油価格が大幅に下落した場合には、再度減産拡大による価格調整を見込み、現状レベルでの推移を想定。

（今月の予想レンジ） J リート 1,900 ～ 2,150 ポイント WTI 55 ～ 65 ドル

6. 2021年4月のスケジュール

日本		米国		その他	
8日	2月国際収支・貿易収支	2日	3月雇用統計	6日	豪準備銀行政策金利
14日	2月機械受注	13日	3月消費者物価指数(CPI)	7日	インド中銀政策金利
23日	3月全国CPI	15日	3月小売売上高	16日	中国1-3月期四半期GDP
26-27日	日銀・金融政策決定会合	23日	3月新築住宅販売件数	16日	欧州3月消費者物価指数(改定値)
27日	日銀展望レポート	28日	FOMC	22日	欧州中央銀行政策金利
30日	3月鉱工業生産	29日	1-3月期四半期実質GDP	22日	ECB総裁、定例記者会見
				30日	独1-3月期GDP

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ティーム証券が作成

7. 事業所案内

支店名	住所	電話番号	支店名	住所	電話番号
静岡県					
本社	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (アゴラ静岡4F)	0120-23-1184	浜松支店	〒430-0944 浜松市中区田町322番地の7 (アゴラ浜松2F)	053-458-7700
本店営業部	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (静岡銀行呉服町支店2F)	054-255-7511	掛川支店	〒436-0056 掛川市中央1丁目22番地の10 (静岡銀行掛川支店2F)	0537-22-0080
静岡駅南支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 (静銀・中京銀静岡駅南ビル2F)	054-282-5700	磐田支店	〒438-0073 磐田市二之宮東1番地1 (静岡銀行磐田支店2F)	0538-36-1411
清水支店	〒424-0812 静岡市清水区小芝町2番1号 (静岡銀行清水中央支店2F)	054-367-2000	浜松西支店	〒432-8061 浜松市西区入野町9784番地の1 (静岡銀行入野支店1F)	053-449-5500
藤枝支店	〒426-0034 藤枝市駅前1丁目6番4号 (静岡銀行藤枝駅支店2F)	054-645-2110	浜松北支店	〒433-8114 浜松市中区葵東1丁目5番2号 (静岡銀行葵町支店2F)	053-420-1851
島田支店	〒427-0022 島田市本通3丁目6番の2 (静岡銀行島田支店1F)	0547-34-5040	浜北中央支店	〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢318番地の1 (静岡銀行浜北支店2F)	053-586-7811
神奈川県					
沼津支店	〒410-0055 沼津市高島本町1番地の1 (静岡銀行沼津駅北支店2F)	055-921-1811	横浜支店	〒220-0011 横浜市西区高島2丁目19番12号 (スカイビル22階)	045-548-4888
熱海支店	〒413-0013 熱海市銀座町14番8号 (静岡銀行熱海支店3F)	0557-83-5081	横浜支店 小田原営業所	〒250-0011 小田原市栄町1丁目1番15号 (ミナカ小田原3階)	0465-46-8113
三島支店	〒411-0838 三島市中田町10番29号 (静岡銀行三島支店2F)	055-972-9100	山梨県		
富士支店	〒417-0055 富士市永田町1丁目70番地 (静岡銀行富士中央支店2F)	0545-51-2211	山梨本店 (4月20日 オープン)	〒400-0031 甲府市丸の内1丁目20番8号 (山梨中央銀行本店2階)	055-244-7821

～山梨本店 4月20日(火) オープン～

山梨県初の拠点として、山梨本店が甲府市 山梨中央銀行本店内にオープンします。

【作成】静銀ティーム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通ししない分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

● 投資信託にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

直接ご負担いただく費用 ・ 申込手数料 上限 3.85% (税込) ・ 信託財産留保額 上限 0.5%

間接的にご負担いただく費用 ・ 信託報酬 上限 2.42% (税込) ・ その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等

※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。

また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。

※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。

◆ 投資信託のリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。

詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

● 上場有価証券等にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。

・ 日本株式 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)

・ 新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)

・ 外国株式 約定代金に対して税込み最大 1.1%

◆ 上場有価証券等のリスクについて

株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。

上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。

◆ 債券のリスクについて

債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。

外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。

上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

SHIZUGIN TM SECURITIES



静岡ディーエム証券株式会社

静岡市追手町1番13号(アゴラ静岡4階) 〒420-0853

TEL.(054)254-6111 FAX.(054)205-1925

URL <http://www.shizuginm.co.jp/>